

第17回 道東ブロック中学校秋季野球大会

大会特別規則並びに申し合わせ事項

1. 競技規則等 2012年度公認野球規則（以下「公認規則」という）および大会特別規則等によって行う。

2. 競技方法
- ① 本大会はトーナメント方式とし、各試合は7イニングスとする。
 - ② 本大会の正式試合（コールドゲーム）になる回数は5回とする。
 - ③ 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差とする。ただし、決勝戦にはこれを適用しない。
 - ④ 5回終了前までに降雨、暗黒及びその他の事情で試合続行不可能となったときは、再試合とする。また、5回をすぎ正式試合となって同点のときは特別継続試合として行うが、決勝戦はこれを適用せず再試合とする。
 - ⑤ 7回までに決着がつかないときには、8回・9回の2イニングスは以下のような打順による特別延長戦を行う。それでも勝敗が決しない場合は抽選で勝敗を決める。

[特別延長戦]

継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者として、2塁、3塁の走者は順次前の打者とする。無死満塁の状態にして次打者から攻撃し1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。なお、勝敗が決しない場合には、もう1イニング行う。更に勝敗が決しない場合は最終出場選手9名による抽選を行う。ただし、決勝戦に限っては、勝敗が決するまで特別延長戦を繰り返す。

- ⑥ 決勝戦の開始時刻は、原則として準決勝終了後60分後をめぐとする。

3. 大会特別規則
- ① 各回交代時の投手の練習投球数は、大会進行の上から制限することがある。また、投手からのサインは禁止する。
 - ② テーピングについては、大会本部に申し出て、ケガ等で必要と認められた場合のみ許される。ただし、投手の指先は禁止する。
 - ③ 突然の事故が起き、一時走者を代えたいときは、審判に申し出て、審判団が必要と認めたとときは、これを許可することができる。なお、この場合は、競技に関する連盟（全日本軟式野球連盟のこと。以下同様）特別規則八を適用する。
 - ④ 打者が「タイム」を要求するときは、投手が投球の構えに入る前でなければならない。また、打者がサインを見るときは、バッターボックス内とする。
 - ⑤ 審判員のルール適用に対する疑義の申し出は、監督または該当選手に限る。また、審判員の判定に対しては抗議できない。
 - ⑥ 公認規則3.03原注「同一イニングでは、投手が一度ある守備位置についたら、再び投手となる以外他に守備位置に移ることはできないし、投手に戻ってから投手以外の守備位置に移ることもできない。」は本大会では適用しない。
 - ⑦ 監督が同一イニングに同一投手のところへ2度目に行くか、行ったと見なされる場合（伝令を使うか、捕手または他の野手に指示を与えて直接投手のところへ行かせた場合）は、自動的に交代しなければならない。その時に、交代した投手が、他の守備につくことは許される。
 - ⑧ 捕手または内野手が、1試合に投手のところへいける回数を、7イニングスの試合にあっては3度以内とする。なお特別延長戦となった場合は、2イニングスに1度行くことができる。※この「3度」には監督がとったタイム数も含まれる。
 - ⑨ 攻撃側のタイム中に、守備側の監督またはコーチが投手に指示を出すことは差し支えない。しかし、プレーの再開を遅らせた場合は、投手のところへ1度行ったこととする。ただし、コーチはダッグアウトから出ることはできない。

4. 試合球及び用具等

- ① 使用球は、全日本軟式野球連盟（以下「全軟野連」という。）公認B号とする。
- ② バットは、木製バットおよび、全日本軟式野球連盟公認（JSBB）バットを使用すること。
- ③ 事故防止のため、打者・次打者及び走者は両耳ヘルメット、捕手はマスク、スロートガード、レガース、ヘルメット及びプロテクターを必ず着用すること。なお、用具はいずれも全軟野連公認のものとする。
- ④ バットリング、鉄棒等の持ち込みを禁止する。
- ⑤ 手袋は、白か黒一色とし、無地で安価なものとする。サポーター付きの手袋の使用は認めない。また試合進行に支障のないように使用すること。
- ⑤ ユニホーム、用具類は、華美にならないように留意すること。また、リストバンド、ハイカットストッキング及びソックス一体型のストッキングは禁止する。
- ⑥ ユニホームは、下げすぎないようにし、ストッキングははっきり見えるようにする。なお、個人名入りのユニホーム及び下位のロングパンツは禁止する。スパイクは、同一色とする。ライン、商標等で色が異なるものは禁止する。
- ⑦ 部長は平服とし、かつ選手と同一の野球帽をかぶること。ただし、ノッカーを兼ねるときは、本書5-⑩を準用する。スコアラーは、選手と同一の服装または、学校標準服、学校指定ジャージ等とする。
- ⑧ 監督及びコーチのユニホーム（背番号はつけなくてもよい）、帽子、ストッキング等は選手と同色であること。

- ⑨ 部長、監督、コーチ及び選手はサングラスを着用しないこと。ただし、身体上特別な事情があるときは、大会本部に申し出をして指示を仰ぐこと。

5. 競技運営に関する取り決め事項

- ① 選手名簿登録後における選手の追加・変更及び背番号の変更は、監督会議で検討する。
- ② 選手の背番号は1～20とし、原則としてポジション別とする。
- ③ 試合予定時刻になってもチームが球場に到着せず、それらについて何ら連絡がないときには棄権と見なす。ただし、交通事情による到着遅延については大会本部で協議し決定する。
- ④ 第1試合のメンバー用紙（3部持参。以下同様）交換及び攻守決定等は、試合開始予定40分前とする。また、第2試合以降は、前の試合4回終了時とする。なお、開会式後の第1試合のメンバー交換は、開会式前に行う。
- ⑤ ベンチは抽選番号の若い方を1塁側とする。
- ⑥ ベンチには、チーム登録選手20名、学校長と部長1名(教員)、監督1名(教員)、コーチ2名、スコアラー1名とする。
- ⑦ 球場内では、キャッチボール、バント、トスバッティング程度とする。また、芝生内でのスパイクの使用は認めない。
- ⑧ 球場内のフリーバッティング、ハーフバッティングを禁止する。ただし、バント、トスバッティング、ノックをやる場合は、ベンチ前のスペース（土の部分）及びファールゾーンのみとする。
- ⑨ 事故防止のため、球場内でノッカーにボールを渡す選手及び補助員はヘルメットを着用すること。
- ⑩ シートノックは、後攻側からはじめて7分以内とする。ノッカーは選手と同一のユニホーム（背番号はつけない）野球帽、ストッキング等を着用し、かつ同一のスパイクまたはこれと同色のシューズを履き、サングラスを使用しない。（身体上特別な事情があるときは本書4-⑨ただし書きを準用する。）で、その任務にあたること。また、シートノックのとき、3名以内の補助員（服装は、試合着・練習着・学校ジャージ）を認める。
- ⑪ 2試合目以降は、前の試合のチームとのベンチの入れ替えが終わってから、5分間のキャッチボールの時間を設け、その後シートノックに入る。
- ⑫ コーチは、試合前のノックを行うとき以外は、ベンチから出ないこと。
- ⑬ 両チームの先発バッテリーは、メンバー用紙交換後、指定されたブルペンの投球練習を認める。ただし、試合中のチームの了承を得ること。その際に、捕手は、レガース、ヘルメットおよびプロテクターを必ず着用するとともに、投球練習（捕手が座った状態）になったら、マスクを着用すること。
- ⑭ ファールボールは速やかに拾いに行き、係員に手渡すこと。
- ⑮ スリーアウトを取ったときは、ボールは投げず、ピッチャーズマウンドにおくこと。
- ⑯ 攻守の交代は迅速に行い、先頭打者とランナーズコーチは、打ち合わせに出ないで所定の場所に着くこと。
- ⑰ 事故防止のため、特に打者走者は四球等のとき、バットは投げず、その場におくようにすること。走者はスライディングのとき、スパイクをあげないこと。
- ⑱ 本塁打を打った走者を讃えるときはベンチからでないこと。
- ⑲ メガホンは監督のみ使用することができる。
- ⑳ 選手交代の申し出は、監督が行うこと。このときはグラウンドコートでは出ないこと。また、無用のタイムは慎み、試合進行に協力すること。

6. 大会に関する申し合わせ事項

- ① ヤジは絶対に慎むこと。素晴らしいプレーには、敵味方関係なく拍手を送るようつとめること。
- ② 試合終了後の挨拶で全てを完了とし、相手ベンチや本部への挨拶は省略し、次の試合のためにベンチを速やかにあけること。
- ② 監督会議で説明または決められた事項は、選手全員に必ず徹底させること。
- ③ 選手の頭髪、身なり等は中学生らしく、マナーには十分に注意すること。
- ④ 応援団は、次の事項を守る。各チームの部長・監督は責任を持って指導すること。
 - ・紙吹雪、テープ、個人名のかいたのぼり等を禁止する。
 - ・自チームの応援については全責任を持つこと。
 - ・投手が投球動作をおこすと同時に歓声を上げたり、鉦（鐘）や太鼓を鳴らすような応援は慎むこと。（継続しての応援はよい）
 - ・応援団席を散らかさないこと。また、ゴミ処理等は応援者各自が行うこと。
 - ・その他中学生らしからぬ行為をしないこと。
- ⑤ 球場使用については、選手・保護者・チーム関係者共に公共施設の使用であることを十分に理解し、美化や使用上の注意事項、マナーやエチケットには十分留意すること。
- ⑥ 大会中の負傷等については、各チームで応急処置ができるように準備しておくこと。
- ⑦ 本大会参加者は、大会運営上必要なプログラム・掲示板・ホームページおよび記録集への氏名・所属・学年その他必要事項の記載について了承するものとする。